

[特集]

精神科ならではの ファーストエイド(応急処置)と、 とっさの声かけ Part2

[この特集は……] purpose of this article



自傷他害、あるいは事故などにより、ファーストエイドが必要となった精神科の実際のケースを再現し、とっさの時にどう対応するかをシミュレーションするための企画です。2016年7月号でも同コンセプトの特集をしましたが、さらに異なる事例もあることに気づき、今回Part2を作ることにしました。今回加わった事例は、「熱傷」「溺れた」「自殺企図」「誤嚥」「肺血栓症」「悪性症候群」です。もし自分がその状況の第一発見者になったならどう動くかを想像しながら読んでみてください。



〈監修〉

三上剛人 (みかみ たけひと)

吉田学園医療歯科専門学校
救急救命学科・学科長
急性・重症患者看護専門看護師
救急看護認定看護師

日本救急看護学会では教育委員、JNYEC (外傷看護コース) インストラクター、FA (ファーストエイド) インストラクターを務める。日本医療教授システム学会理事、日本救急看護認定看護師会副会長。著書に、『緊急・応急処置Q&A』(日本看護協会出版界)、『ナースならできておくべきすぐやる技術』(学研メディカル秀潤社) ほか。



〈監修&患者役モデル〉

中村 創 (なかむら はじめ)

医療法人資生会千歳病院・看護主任
精神看護専門看護師、保健師

2003年に日本赤十字北海道看護大学を卒業、浦河赤十字病院に勤務。内科外科急性期病棟を経て精神科病棟で日常生活支援、SST、退院支援などに従事。それに加え地域での精神保健活動にも参加する。浦河赤十字病院退職後2年間デイサービス勤務で介護の現場に身を置き、2009年より現職場である千歳病院に勤務。2015年に札幌市立大学看護学研究科博士前期課程を修了、精神看護専門看護師を取得。

〈看護師役モデル〉三枝優香 〈解説協力〉田口裕紀子 〈撮影協力〉医療法人資生会千歳病院
〈カメラマン〉吉田公貴 (Studio Green)